

## 組合創設 50 周年記念式典にあたり

組合長 徳永 哲雄  
(弟子屈町長)



本日ここに、釧路北部消防事務組合、創設 50 周年記念式典を開催いたしましたところ、ご多用中にもかかわらず、多くの皆様のご臨席を賜り、このように式典が挙行できますことを心から感謝申し上げます。

また、「標茶消防熊牛まとい組」の皆様には、素晴らしい纏の演舞を披露していただき、式典に花を添えていただきましたことに御礼を申し上げます。

先ほど、永年にわたり、当組合の運営にご尽力いただき、今日の釧路北部消防事務組合を築き上げる上で、多大なるご貢献をいただいた皆様方に、感謝状を授与させていただきました。皆様の今日までのご功績に対し、心から敬意と感謝を申し上げますとともに、組合の一層の発展のため今後も、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

釧路北部消防事務組合は昭和 48 年 4 月 1 日に弟子屈町と標茶町の 2 町によって常備消防体制の確立と消防行政の広域化を図る目的で創設され、平成 17 年には鶴居村も加入し、弟子屈町・標茶町・鶴居村の 2 町 1 村として 50 周年の記念すべき節目を迎えました。この 50 年間を振り返りますと、社会の変遷に伴い災害は複雑かつ多様化し、さらに大規模化しており、想定を超える災害も発生してきました。地域防災に情熱と努力を惜しまず尽力された歴代の消防関係者と、それを支える、ご家族の皆さまにより、この地域の安寧秩序が保たれてきました。そのご苦勞に対し深く敬意と感謝を申し上げます。

さらにこの間、消防の伝統が脈々と継承され、職員数も大きく増加するなど常備消防体制の確立が図られました。地域に密着した消防団では、高齢者宅の防火訪問や住民への応急手当などを目的に女性消防部を組織し、各種災害の被害軽減と拡大防止に迅速な対応がとれるよう弟子屈消防団と川湯消防団を統合するなどの組織強化が図られました。消防設備の充実も図られ、高規格救急車の運用や近代的な訓練施設を有した弟子屈消防庁舎の建設、高機能通信指令システムを導入し、組合内の通信指令業務共同化などが行われました。このような発展を遂げることができましたのも構成町村、町村議会、組合議会をはじめ関係各位、地域住民のご尽力の賜であり、消防行政の責任者として心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

50 周年の節目を迎え「組合消防の更なる発展と地域住民が安心して暮らせる街づくり」のため、決意を新たにするとともに、副組合長であります佐藤標茶町長、大石鶴居村長をはじめ構成町村とこれまで以上に連携を図り、あらゆる災害に対応すべく、消防職・団員一丸となり誠心誠意努力を重ねてまいります。

結びに、これまで当組合の運営にご尽力いただきました関係各位、並びに地域の皆様に改めまして感謝申し上げますとともに、今後も尚一層のご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本式典にご臨席いただきました皆様のご健勝と、ご多幸を心からお祈り申し上げます。釧路北部消防事務組合創設 50 周年記念式典の式辞といたします。

## 釧路北部消防事務組合 50年のあゆみ

昭和 48 年	4 月 1 日	弟子屈町と標茶町を構成町とする「釧路北部消防事務組合」が発足 組合設立に伴い弟子屈支署・標茶支署に救急車を配置、組合消防 として救急業務を開始
昭和 49 年	8 月 10 日	北海道消防操法大会で川湯消防団が優勝（自動車ポンプ）
	8 月 10 日	消防無線電話機設置
	10 月 28 日	川湯支署に屈折梯子付消防ポンプ自動車（20m級）を配置
昭和 50 年	5 月 1 日	川湯支署で救急業務を開始
	10 月 15 日	標茶支署に林野火災工作車を配置
昭和 54 年	8 月 1 日	組織の機構改革により弟子屈支署・標茶支署を消防署に格上げ
昭和 55 年	8 月 22 日	北海道消防操法大会で弟子屈消防団が準優勝（自動車ポンプ）
昭和 56 年	3 月 31 日	弟子屈消防庁舎新築移転（旧庁舎 美里 2-1-1）
昭和 59 年	8 月 24 日	全国消防救助大会に弟子屈消防署員が出場（梯子登はん）
昭和 61 年	6 月 20 日	第 38 回北海道消防大会が弟子屈町で開催
	7 月 8 日	標茶消防庁舎新築移転（現庁舎）
	8 月 22 日	全国消防救助大会に標茶消防署員が出場（梯子登はん）
昭和 63 年	7 月 29 日	北海道消防操法大会で標茶消防団が優勝（自動車ポンプ）
平成 2 年	12 月 11 日	弟子屈消防署川湯支署、弟子屈町役場川湯支所の合同庁舎を新築 （現庁舎）
平成 4 年	7 月 31 日	北海道消防操法大会で弟子屈消防団が優勝（小型ポンプ）
	9 月 1 日	標茶消防団に女性消防部を設置
	10 月 14 日	全国消防操法大会に弟子屈消防団が北海道代表として出場し優 良賞を受賞（小型ポンプ）
	10 月 16 日	標茶消防創設 100 年記念式典
平成 5 年	10 月 16 日	組合創設 20 周年記念式典（摩周観光文化センター）
平成 6 年	2 月 7 日	標茶消防署に救助工作車を配置
平成 7 年	11 月 16 日	弟子屈消防署に高規格救急自動車を配置
平成 8 年	4 月 1 日	救急救命東京研修所救急救命士養成研修に標茶消防署員派遣
	11 月 19 日	標茶消防署に組合初の救急救命士誕生
平成 9 年	3 月 3 日	標茶消防署に高規格救急自動車を配置
	4 月 1 日	川湯消防団に女性消防部を設置
	7 月 1 日	弟子屈消防団にラッパ隊を結成
	8 月 1 日	標茶消防署で救急救命士運用開始
平成 10 年	4 月 1 日	弟子屈消防署で救命士運用開始
	7 月 30 日	北海道消防操法大会で標茶消防団が準優勝（自動車ポンプ）
	11 月 1 日	弟子屈消防署に水難救助隊を編成し運用開始
平成 13 年	4 月 1 日	弟子屈消防団に女性消防部を設置
平成 14 年	2 月 8 日	弟子屈消防団が日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞
平成 15 年	5 月 18 日	組合創設 30 周年記念式典（標茶町コンベンションホールういず） 標茶駅前大火 50 周年記念組合総合演習
	10 月 15 日	川湯支署に高規格救急自動車を配置、救急救命士運用開始
平成 16 年	4 月 1 日	緊急消防援助隊が消防庁長官の出動の指示権が創設され緊急消 防援助隊に登録

平成17年	10月11日	消防広域再編により釧路北部消防事務組合に鶴居村が加入
	11月15日	携帯電話からの119番通報を受信開始(弟子屈署で受信)
平成18年	7月20日	北海道消防操法大会で弟子屈消防団が準優勝(自動車ポンプ)
平成19年	2月15日	鶴居消防署に高規格救急自動車を配置
	3月26日	救急救命東京研修所救急救命士養成研修で標茶消防署員が成績優秀により表彰受賞
	4月27日	全道消防職員意見発表会で標茶消防署員が最優秀賞を受賞
	6月7日	全国消防職員意見発表会に標茶消防署員が全道を代表して出場
平成20年	12月19日	鶴居消防庁舎新築(現庁舎)
平成21年	10月5日	道東ドクターヘリ運航開始
平成22年	12月24日	川湯支署に屈折はしご(25m級)付消防ポンプ自動車を配置(現車両)
平成23年	3月22日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第4次北海道隊として隊員1名を宮城県石巻市に派遣
	4月9日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第9次北海道隊として隊員5名を宮城県石巻市に派遣
平成25年	5月12日	組合創設40周年記念式典(摩周観光文化センター)
	10月11日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(苫小牧市)に消火小隊1隊5名を派遣
平成26年	3月20日	消防救急デジタル無線運用開始
	4月1日	鶴居消防団に下幌呂消防部、女性消防部を設置
	10月22日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(弘前市)に後方支援隊で2名を派遣
平成28年	7月16日	全道消防救助技術訓練指導会で鶴居消防署員が知事賞を受賞(ロープブリッジ渡過)
	8月24日	全国消防救助技術大会に標茶消防署員1名(はしご登はん)、鶴居消防署員1名(ロープブリッジ渡過)が出場
平成29年	7月13日	消防本部及び弟子屈消防庁舎を新築移転(現庁舎)
	8月25日	第69回北海道消防大会が弟子屈町で開催
	10月6日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(米沢市)に後方支援隊で2名を派遣
令和元年	7月19日	北海道消防操法大会で弟子屈消防団が準優勝(小型ポンプ)
令和3年	4月1日	弟子屈消防団と川湯消防団が統合し弟子屈町消防団発足
	4月12日	無人航空機(ドローン)を配備
	10月21日	通信指令業務を弟子屈消防署の通信指令室に一元化し運用開始
	11月13日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(釧路市)に救急隊1隊3名、後方支援隊で2名を派遣
令和4年	4月23日	斜里町ウトロで26名が乗船する観光船が沈没し、翌24日朝に北海道広域応援第1要請により救急隊1隊を派遣
	10月7日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(青森市)に消火小隊1隊5名を派遣
	11月12日	緊急消防援助隊全国合同訓練(静岡県)に後方支援隊で2名を派遣

～ 式典の様子 ～



